

ひきこもり支援者研修会を開催しました

不登校など様々な問題を抱える子ども達の自立支援に長年携わり、特定非営利活動法人子どもと生活文化協会（略称CLCA）の顧問である和田重宏氏を講師にお招きし、「ひきこもり状態にある人との関係性構築に向けて～支援者としてできること～」をテーマにひきこもりについての研修会を開催しました。

研修会では、ひきこもりの特徴、対応の現状及び解決に向けて「表面に現れている現象にとらわれず、その背景を探る」ことが重要であり、「相手に寄り添って話を聞き、信頼関係を構築することが大切」などのお話がありました。

支援する側としては結果を出そうと焦りがちですが、一人ひとりの個性を理解し、向き合っていくことで心を開いてくれるような関係性を築くことが大切であり、今後の支援に活かしていきたいなどの感想が寄せられました。



- 1 日 時 令和4年10月19日（水）
午後1時～午後2時
- 2 場 所 保健福祉センター 多目的ホール
- 3 テーマ ひきこもり状態にある人との関係性構築に向けて
～支援者としてできること～
- 4 対 象 ひきこもり状態にあるご家族と接しておられる市内の
関係支援機関の職員の皆様
- 5 出席者 55人